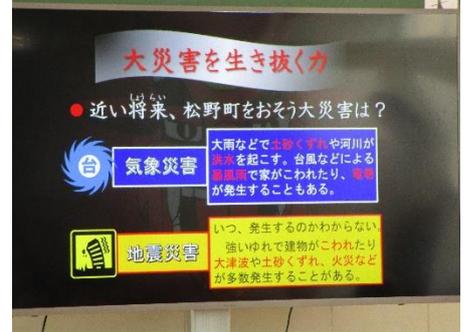


## 【健康・安全】



6月20日（金）に防災教室を開きました。宇和島市の防災強化アドバイザーである山口賢司氏をお招きし、低学年にも分かりやすいように動画や写真を見せながら、大地震がきたときどうすれば自分の命を守ることができるかを教えていただきました。津波の様子や大地震の揺れの大きさや長さを見た子供たちは、驚いていました。予想されている南海トラフ地震は、とても大きな地震なんだと理解することができました。最後に、「想定にとらわれず、状況下において最善を尽くし、率先避難者になろう」と話されました。山口氏のお話によると、大地震の場合、松野町においても道路の液状化、1週間程度の停電、3か月以上の断水などが予想されるそうです。今後の備えの参考にしてください。

### 【低学年の感想より】

- ・大地震は必ずいつか起こると知った。
- ・自分が生まれる前の大きな地震について知った。津波は怖いと思った。
- ・大地震がきたら、頭と首を守って、広い場所で動かない方が良く分かった。

### 【中学年の感想より】

- ・大地震では、道が浮き上がったり、ガラスが割れたりすると知った。
- ・家が山の近くにあるので、土砂災害にも備えたい。
- ・防災ボトルだけでは足りない分かったので、お家用の防災袋を用意したい。

### 【高学年の感想より】

- ・正しい判断をして、自分の命を守りたい。助け合うことの大切さを知った。
- ・大雨のとき、広見川は三間や鬼北の水が集まるので、松野では水位が高くなると知った。
- ・大地震では3分間揺れが続く。あんなに家具が倒れると知ったので、家の家具を固定したい。

## 【奉仕】



以前計画していた西小クリーン大作戦が校内活動となり、通学路のごみ拾いができませんでした。そこで、5・6年生が話し合い、毎週水曜日の下校時にごみ拾いをするようになりました。既に2回実施していますが、毎回ごみが落ちているようです。集めたごみは、次の日に学校で集め、全校に紹介しています。5・6年生が進んで取り組んでいる姿を見て、奉仕の心が育っていることを感じます。